

## Spectrum Spatial

エンタープライズレベルでのマッピング・ジオコーディング・ルーティング等の位置情報活用を実現する、データ品質プラットフォームです。

### Spectrum Spatialで空間データを有効活用

サーバ上に機能を集中してデータやリソースを共有することにより、既存の位置情報システムやGISアプリケーションの効果を改善します。

- 組織横断型で一貫性のあるデータ分析を行えるメリットが得られます。
- 組織内の様々なビジネス領域において個別に必要としている位置情報機能に対し、迅速かつ容易に対応できるメリットが得られます。
- GISユーザーのみならず、GISに明るくないメンバーでもデザイナーワークフローを使用して、ビジュアルベースで容易に空間分析作業を行えるメリットが得られます。
- REST/SORPサービス、RIAコントロールなど開発者向けAPIを利用可能です。開発アプリケーションからすばやく容易に地図サービスの利用が可能となります。

## Spectrum Spatialとは

Spectrumは位置情報という付加価値要素の取扱いが可能な次世代の顧客データ品質プラットフォームです。その位置情報活用を担うSpectrum SpatialはSpectrum統合プラットフォームの多彩なモジュール群のうち、空間機能に特化したEnterprise Geocoding Module (EGM)、Location Intelligence Module (LIM)およびEnterprise Routing Module (ERM)から構成されています。

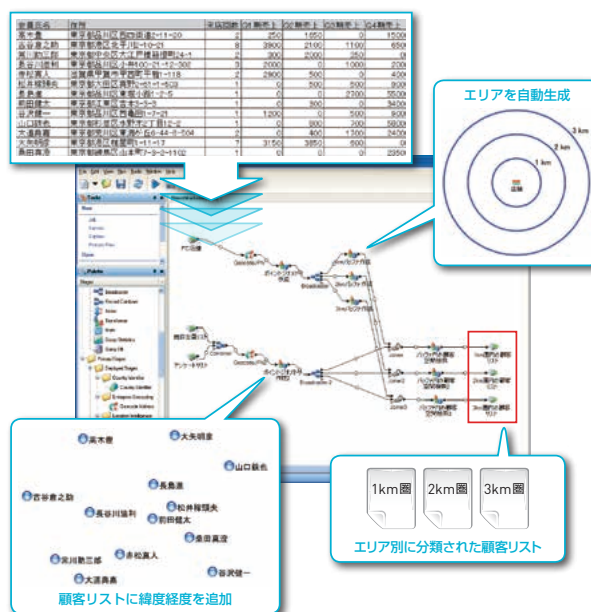
Spectrum Spatialの導入により、業務の最適化と情報の見える化を同時に実現するエンタープライズ規模の包括的なロケーションインテリジェンスが実現します。

## Spectrum Spatialの導入メリット

Spectrum Spatialを導入すれば、位置情報化されたデータベースの力を、いつでも、どこでも、メンバーの誰もが活用できるようになります。Spectrum Spatialの標準的なWebサービスに、緯度経度対応していない標準的なビジネスデータを投入するだけで、従来のビジネスプロセスと分析ルーチンに対して、新たに位置情報の能力を加えることができます。その結果、空間アプリケーションの個別開発や分析専任者を必要とせず、コストをかけずに高度な意思決定が可能となります。

また、Spectrum Spatialはパッケージングされたコンポーネントとして提供されますので、システム実装の時間が大幅に短縮します。複数の開発環境との互換性により、現在のIT投資とリソースを有効に活用したシステム導入が行えます。

さらに、グラフィカルで直感的なワークフローデザイナーを備えています。ユーザーは技術的な専門知識を必要とせずに開発を進められるため、アプリケーションやWebサービスを容易に位置情報対応化することができます。さらに、ビルトインされたセキュリティ、暗号化、および認証等の機能により、Webおよびオンプレミス環境下の貴重な企業データ資産を保護することができます。



Spectrum Enterprise Designerでは、住所リスト等のジオコーディングやルーティング、空間データ検索の機能をプログラムレスで設計することができます。GISによるオペレーションを行わなくても、位置情報を活用したソリューションが実現します。

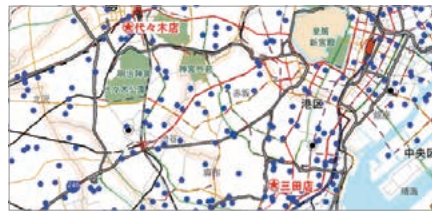
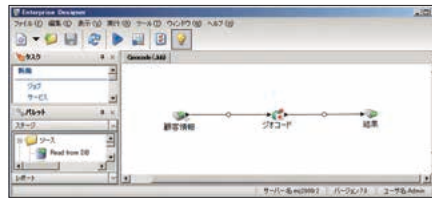
## Enterprise Geocoding Moduleの特長

Enterprise Geocoding Moduleはデータベースに含まれる住所や郵便番号などの情報から、ピンポイントレベルの緯度経度を付与するモジュールです。

緯度経度を付与するジオコーディングは、位置情報活用のスタートポイントです。

世界各国のジオコーディング技術とノウハウにより、何百万レコードもの住所を素早く処理することが可能です。

さらに、日本のみならず北米、ヨーロッパ、アジア各国あわせて49カ国のワールドワイドなジオコーディングも提供しています。



Enterprise Designerによりジオコーディングの手順を設計します。出力結果は緯度経度対応しており、地図上に分布可能です。

## Location Intelligence Moduleの特長

Location Intelligence Moduleは、空間処理の機能を利用可能とするモジュールです。

Enterprise Designerにより、ポイントやラインから発生させたバッファポリゴン内のポイントを抽出したり、特定の緯度経度から一番近い施設を見つけるなどの機能をノンプログラミングで抽出することができます。

さらに、MapInfo Spatial Serverとの統合により、マッピング機能、マップタイリング機能、フィーチャー探索、ジオメトリ計算、WMS (Web Mapping Service)、WFS (Web Feature Service)、CSW (Catalog Service Web) を含む多彩な空間機能群が、RESTおよびSOAP APIを介した一連のリモートサービスとして提供可能です。

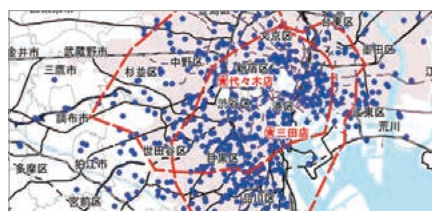


Enterprise Designerにより店舗周辺3km圏の顧客抽出手順を設計します。抽出した結果を地図に示すと下図のようになります。

## Enterprise Routing Moduleの特長

Enterprise Routing Moduleは、車や徒歩によるルート探索や時間距離圏を取得する機能を提供します。出発点から一定の時間や距離内の場所や対象物を特定するのに利用されます。日本のみならず、主要国でも同様の機能が実現します。

2点間はもちろん、複数のポイント間で経路の探索情報を提供することができます。また、実際の道路に沿った移動を想定したドライブタイムポリゴンを求めることができます。



Enterprise Designerにより店舗から30分圏の顧客抽出手順を設計します。抽出した結果を地図に示すと下図のようになります。

# PRODUCT DATA SHEET

### 動作環境

Spectrum Spatialは以下の各環境をサポートしています。

#### データベース

- Oracle 10/11
- SQL Server Spatial 2008
- PostGIS 1.5.2

#### ウェブブラウザ

- Microsoft Internet Explorer 8/9
- Mozilla Firefox 10/11
- Google Chrome 17/18
- Safari (Mac OSX)

#### OS (サーバ)

- Windows 2003/2008
- SUSE Linux 10/11
- Solaris 9/10
- RedHat 5/6
- HP-UX V11iV3 (Itanium)
- AIX 6.1/7.1

Spectrum Spatialは、Open Geospatial Consortiumの定義したAPIをサポートしており、WMS1.3、WFS1.0、CSW2.0.2の各仕様についての認証を受けています。

詳細はピツニーボウズ・ソフトウェア株式会社または、MapInfo 製品販売パートナーまでお問い合わせください

### ピツニーボウズ・ソフトウェア株式会社

〒150-0012 TEL:03-6805-1155 / FAX:03-6805-1123  
東京都渋谷区広尾 1-1-39 E-mail:PBBI-Japan@pb.com  
プライムスクエアタワー 13階 Web:http://www.mapinfo.co.jp

Every connection is a new opportunity™

©2013 Pitney Bowes Software, Inc. All rights reserved.

この内容は予告なしに変更する場合があります。ここに記載されている製品およびサービス名は、各社の商標です。

 Pitney Bowes  
Software